

## (1) 活動内容

### ①概要

- ・ 学年：中学2年生
- ・ 題材名：Talking Time 道案内
- ・ 時間数：2時間のうちの前半1時間
- ・ 4技能：聞く・書く・話す

### ②学習過程

#### <導入>

##### ○既習内容のクロスファイアゲーム

「道案内」に使いそうな表現を中心に出题。全員が回答できるように易しい単語も織り交ぜた。

#### <展開>

##### ○学習課題の確認

「友達に京都の街中を案内しよう！」

##### ○リスニング問題にチャレンジ

未習ではあるが、いきなりリスニングにチャレンジさせる。これは、普段から実際に話す場面では予習など出来ず、知っている単語で対応するしかないからである。ただし、答えが間違っている場合でも当然であることも合わせて伝える。

##### ○弾丸インプットワークシート

左に英文、右に対訳を付けたワークシートで音読の練習に徹底的に取り組ませる。その後、ペア活動で本文の和訳に挑戦させる。

##### ○リスニング問題に再チャレンジ

同レベルのリスニング問題に再挑戦させ、さきほどよりも理解できるようになっていることを確認する。

##### ○実際の京都地図で道案内チャレンジ

次年度、実際に訪れる京都地図を使うことで生徒の興味・関心を高める。グループである場所を案内させ、そこがどこなのかを他のグループに当てさせる活動。

#### <まとめ>

京都地図での案内で、どれだけの他グループに自分たちの案内ができたか、あるいは他の班の発表を聞いて正しい場所に辿り着けたかをワークシートを使って確認させる。

### ③成果・課題

生徒は、1回目のリスニングでは数名しか正しい場所に辿り着けなかったが、弾丸インプットワークシートを使用した音読活動の後の再チャレンジでは8割近くの生徒が正しい場所に辿り着くことができた。京都地図を使ったグループ活動では、実際の地図に引き込まれ、楽しく活動をすることができた。ただ、案内が回りくどくなり、まったく別の場所を答える班もあつたりしたので、もう少しじっくりと時間をかけて案内の仕方を確認したり、音声での理解を助けたりするなどの支援や工夫が必要であった。